

令和6年3月29日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市営住宅指定管理者

日興美装工業株式会

代表取締役 櫻井 和

令和6年度 自主事業計画

- 1 各自主事業概要
- 2 自主事業収支計画表
- 3 自主事業実施計画表

16 自治会活動の活性化につながる取組みについて

入居者の高齢化等により、自治会活動が困難になっている中、自治会の活性化につながる取組について具体的に記述してください。

1. 基本的な考え方。

自治会は、地域の暮らしを支える組織であり、その活動は地域の連携と価値を高めます。本指定管理者業務をおこなうにあたり、自治会との連携は非常に重要と考えています。

しかし、入居者の高齢化、コロナでの活動自粛等により自治会活動が困難となってきている現状です。

自治会の活動は、高齢者の見守り、災害時対応(防犯、防災)、子どもの見守り、環境美化等、暮らしを地域から支える大事な社会インフラです。

当社は、自治会活動における課題と指定管理者が支援可能なことをよく理解し、地域に係る専門機関や地域福祉に精通したNPO法人、民生委員さんなどと連携し、住民相互のコミュニティ活動の活性化や再生化、入居者さんのコミュニティ(居場所)づくりの一助となるお手伝いをさせて頂くことで、地縁団体としての自治会組織の新たな活力に繋がるサービスを提案して行きます。

2. 課題点。

当社では、これまで市営住宅指定管理者としてどのようなお手伝いができるのかを検討するために、「自治会活動に関するアンケート調査」をおこなってまいりました。

問題点としては、自治会に加入していない、活動に興味がない、入居者の高齢化、入居者同士のコミュニケーション不足、新たな担い手の不足等、多数の意見が挙げられました。

特にコロナ自粛の中で、高齢者は人に会う機会が減少し、人と集まる事業ができず若い世代も在宅ワークが増え、コミュニケーションの機会自体が減少してしまいました。

自治会活動の主な課題

- ◆ 自治会役員の高齢化
- ◆ 自治会員(入居者)の高齢化
- ◆ 役員の成り手がいない
- ◆ 自治会活動に対して関心がない
- ◆ 防犯・防災面での不安
- ◆ 予算不足やコロナ自粛で、行事をおこなえない
- ◆ 多様な条件を抱える住民を対象にした活動が困難である
- ◆ 見守り活動の推進を図ることができない
- ◆ 入居者同士のコミュニケーション不足

―自治会支援活動の体制。―

自治会支援活動の体制は、指定管理者が自ら支援できる活動については、指定管理者である「日興美装工業株式会社」がおこない、高齢者の「仲間づくり」・「居場所づくり」・「役割づくり」・「支え合い」や「見守り」活動に繋がる支援活動及び多世代交流についての活動支援などは、「NPO法人シーズネット」等と協力して取り組みます。

さらに、多様な条件を抱える入居者も多いことから、Bブロック各地域の事情に精通し、且つ、地域まちづくりや地域包括ケアに対しても経験豊富な「地区社会福祉協議会さん、地域包括支援センターさん、介護予防センターさん、まちづくりセンターさん、福祉のまち推進センターさん」にも連携を要請し、地域情報の収集をおこない自治会活動を支えるサポートに当たります。

尚、この活動に必要な事業経費については、指定管理者経費から捻出せず、日興美装工業株式会社の直接会社経費で負担します。

―活動目標。―

自治会の活動状況や課題を把握した上で、指定管理者が取り組むことによる、効果の高いもの、緊急性があるもの、重点的に取り組むべきものや、専門性が求められるものについて検討し、必要に応じて専門性の高い地域活動団体の協力を得て、自治会ニーズに沿った、有効な支援活動を計画して行きます。

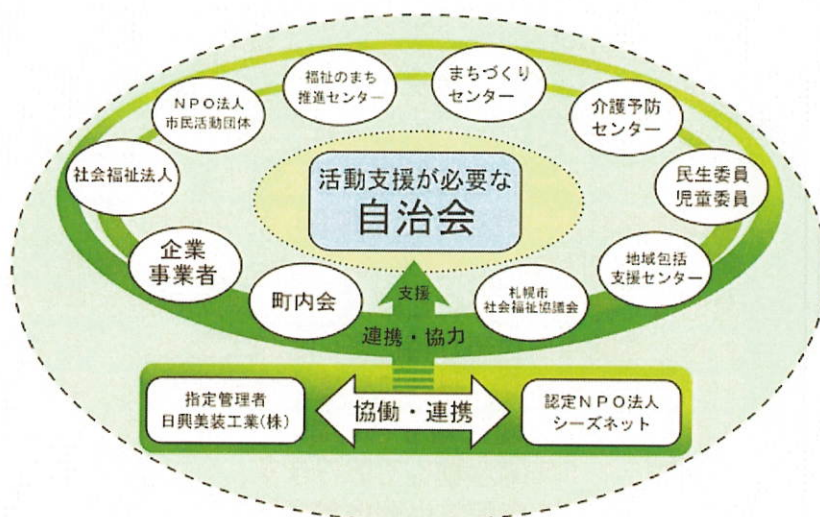
また課題に即して、入居者個々の生活や活動に役立つ情報提供をおこない、既存の取り組みや新たな取り組みの後押しをおこなって行きます。

―活動方針及び目的。―

実施にあたっては、専門性の高い地域活動団体との連携体制を意識しながら取り組むことで、自治会組織が入居者にとって関わりの深い組織であることの認知度アップにも繋がります。また、入居者に対しての情報提供・情報発信に力を入れ、新たに取組む事業への積極参加を促すことで、自治会活動を担う新たな担い手の発掘と活動の場を提供して行きます。

特にこれからは、子育て世代にあたる若い入居者層の意見を聞く場も設け、自治会活動との接点を増やしていくことを心掛けます。

さらに、定着してきた行事やイベントについては実行委員会形式での開催に移行することを目標に、参加した入居者が自ら企画・運営・実施に取り組む機会を設け、入居者自身が主体的に活動を展開して行くことで、自治会組織の活性化にも繋がるお手伝いをして行きます。



5. 自治会の活性化に向けた想定事業

コロナ渦でいろいろな活動ができなくなり、最低限の活動しかできなくなりましたが、当社ではウィズコロナ、アフターコロナ、不安定な時代の中で地域コミュニティの活性化のチャンスに変えて行きたいと考えています。

アフターコロナのコミュニティの役割

- ◆ 孤独の解消
地域コミュニティを知りたくなる
(社会とのつながりを感じる機会をつくる)
- ◆ 多様なコミュニケーションの方法で多様な人とつながる
オンライン、在宅ワークが日常になってきている
(SNSやFacebook等の活用)
- ◆ 居場所づくり
地域コミュニティでの時間が増え、居場所のニーズが高くなる
(参加しやすい小さな活動にする、自分の好みで参加できる)

―アンケート調査。―

当社では、各自治会に対して、ニーズの洗い出しをおこなうためのアンケート調査を実施しています。

このアンケート調査を年1回程度おこない、札幌市住宅課さん及び協力専門団体と、各自治会活動の現状把握並びに支援活動のあり方について検証し、今後の活動計画についての意見交換や協議をおこなって行きます。

アンケートの結果は、ホームページと団地内掲示板等で公表します。

Bブロックのアンケートでは学びたいこととして、認知症への理解と対応やサロン作りについて等、実際に意見を頂いております。現状の問題点や学びたいことを聞くことで、支援活動のベースにして行きます。

効果の高いもの、緊急性があるもの、重点的に取り組むべきものや、専門性が求められるものについて事業を分類し、必要に応じて専門性の高い地域活動団体の協力を得て着手して行きます。

② 自治会からの情報発信力を高めるお手伝いをする (多様なコミュニケーション)

◀ 自治会活動案内チラシ作成、SNS技術支援講座 ▶

行事案内チラシ、お知らせチラシ、回覧板などの紙媒体コンテンツの充実を図ります。

これまで、「入居者が自治会活動に対して関心がない」との課題がありました。

自治会役員の方が、各種案内チラシを作成していると思いますが、さらに関心を持ってもらうためにはどうすれば良いか等、見て読んで相手に伝わる案内チラシ作成の相談や、自治会のFacebookの作成等の提案もいたします。

Bブロック全自治会向けに無料相談をおこなう予定です。

また、つながりを多く作る為に、様々な方法を活用することが大切ですので、自治会の活動を掲示板や回覧板で知らせます。市営住宅指定管理者のホームページで紹介したり、SNS、Facebook等に載せることも検討し、それを見て興味を持って頂いた方には、お問い合わせや相談、ご意見をいただきます。

③ さまざまな世代の人が気軽に集える交流のある団地にする (居場所づくり)

市営住宅自治会アンケートによりますと、サロン作り活動や専門講座(認知症理解や予防)イベント企画等、学ぶ機会があればいいとの意見が出ていましたので、当社は自治会活動支援としていろいろな講座の提案をします。



◀ プロによるお掃除講座 ▶

当社は自主的な取り組みとして、自治会、町内会、小・中学校などからの要請により「お役立ちお掃除講座」を開催しております。

長年培ってきた、ビルメンテナンス企業としてのノウハウを活かしたお掃除のコツや、汎用品店で買える道具を選ぶポイント、洗剤を選ぶ時の注意事項などを講習します。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、消毒清掃の方法や、消毒剤の知識など、正しい感染対策知識や掃除方法を学べるよう、幅広い年齢層に向けた講習内容も用意しています。



◀ ワークショップ ▶

自治会支援活動を進めて行く中では、自治会役員を最初から担わせることとは一旦切り離れた立場で関わって頂けるボランティアスタッフの存在が必要です。

しかし、現実にはボランティアスタッフを公募してもなかなか集まらない状況です。

まずはイベント企画などの来場者に、ボランティアとして企画から参加していただける方がいないか、お声掛けをおこなって行きます。

ボランティアスタッフには、色々見て聞いて頂いて、将来の新たな担い手となれるよう、サポートして行きます。

将来的には入居者同士が主体となって運営するワークショップの開催などを目指します。



自治会支援活動まとめ

- ◆ 高齢者の閉じこもりや孤立を予防する仕掛けづくり支援
- ◆ 地域及び団地全体で取り組む高齢者の見守り支援
- ◆ 無関心層の取り込みや新たなサークル化・サロン化（組織化）の支援
- ◆ 子育て世代にあたる若い入居者層と自治会活動との接点を増やす支援
- ◆ 自治会活動の新たな担い手育成支援

当社は、自治会の円滑な運営と活性化を促進するために「新たな担い手の確保」、「情報発信・情報共有」、「活動・行事」、「組織・運営」の視点が重要になると考えます。

それぞれの視点において、その取組みを改善したり工夫したりすることで、今よりも円滑な運営に近づいて行き、入居者にとって「顔の見える自治会」にして行きたいと考えております。

今回こうした地域や専門機関と連携することによって、住民相互のコミュニティ活動の活性化と再生化を図る一助としてお手伝いさせて頂くことができますし、同じ団地に住む住民同士が地縁団体としての共同体意識をさらに持って、新たな自己解決能力が備わった自治会組織に発展して行くことが期待されます。

当社は、この自治会支援活動に賛同頂く専門機関や団体と一緒にできる限りのお手伝いをさせていただきます。



科目	予算額	摘要
旅費・交通費	30	お掃除講座会場など交通費
光熱水費		
通信運搬費	1	安心ほっとコール 通話料:1件あたり30円×3世帯 月額90円×12ヶ月 年間1,080円
租税公課		
広告宣伝費		
保険料		
賃借料		
リース料	86	元町北東会館利用料 6,000円×12回(11月～5月まで暖房料プラス2,000円) 年間86,000円
修繕費		
消耗品費		
備品費		
印刷製本費		
諸謝金		
委託費		
支払手数料		
行政財産の目的外使用料		
人経費	30	お掃除講座(講師派遣料1回3万円)
合計	147	

令和6年度 自主事業実施計画表

令和6年3月29日

月	まごころサロン、GOGOサロン日程 元町北東会館 (毎月第2, 第4水曜日2回)	安心ホットコール	プロによるお掃除講座	サーキュラーエコノミバザー
4	10日、24日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		リサイクル品準備年度
5	8日、22日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
6	12日、26日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
7	10日、24日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
8	14日、28日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
9	11日、25日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
10	9日、23日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
11	13日、27日	登録者3件 毎月15日ごろ実施	まごころサロン終了時に実施(床・壁・トイレ・換気扇・結露対策等	
12	11日、25日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
1	8日、22日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
2	12日、26日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		
3	12日、26日	登録者3件 毎月15日ごろ実施		